

北斗



第 131 号

平成 24 年 11 月 15 日

題字：味村校長先生

発行：稲城市立稲城第七小学校 PTA

稲城市矢野口 1901-2 TEL 042-377-0351

平成 24 年度 稲城市立学校 PTA 連合会

— 講演会 —

「今からでも遅くない!! 知ってナットク、子どもの心とそのサイン」

去る 10 月 27 日、稲城市中央文化センターホールにて開催されました稲城市立学校 PTA 連合会主催の講演会の内容をお知らせいたします。

お招きした講師の先生は、現在心理カウンセラーとしてご活躍されている竹内成彦氏です。周囲に馴染めずに過ごしたご自身の不登園時代やいじめに苦しんだ小学校時代のエピソードをはじめ、子供の心とそのサインについてとてもわかりやすく、時にはユーモアを交えた楽しいお話を聞かせて下さいました。

心理カウンセラーである先生が実際に子供たちに「なぜ学校へ行くのか」というアンケートを行ったところ「学校が楽しい・おもしろい」「将来・自分のため」「習慣・惰性」「親や先生などの強制力」の 4 つの理由があるそうです。実は子供というのは理由があるから学校に行くのであり、不登校にならないためには学校へ行く理由を奪わず行かせ続けることが大切だと話されていました。

子育てとは「子供が経済的自立・家庭を作ることのできる大人になるように関わっていくこと」であり、その中で最も大切な 3 つのことは「健康」「我慢強さ」「自己肯定感・自尊感情」であり、プラス 2 つのこととして物事の善悪の区別をつける「社会性」と挨拶やお礼・謝罪を言える「基本的生活習慣」があると話されていました。中でも現在では大人にも見られる「我慢弱さ」に対して、「やるべきことは絶対やれ」「やってはいけないことは絶対にやるな」という姿勢で意識的に我慢を覚えさせることが必要ということでした。



また、自己肯定感・自尊感情を高めるには「自分が好き」「生きている価値がある」と子供が思えるようにすることが必要だそうです。「100 点を採れた」「一番になれた」などの、いつか失ってしまうかもしれないことをほめていくのではなく、しっかりスキンシップをとり、いつも見ていること、たとえ話かけてくれなくなっても声をかけていくこと、そして話をしっかり聞くことにより、子供が愛情を感じて高めていくものである、という印象的なお話を聞くことができました。

子供は言いたくても、上手く自分から言葉に出しては言えないものなので、しっかり見てあげること、周りが子供の出すサインに気付くことが大切なのだそうです。

子供の話を聴くということについて竹内氏は、「私たち大人は子供の話を聞いているようで、実はほとんど聞いてないことが多い」「重要な話はすぐには言えない、前置きや枕ことばがあるものだ」と話されていました。



先生のお話から子供の話を聴くには6つのコツと4つの技術があるそうです。6つのコツとは…

- | | |
|------------|------------|
| ① ながら聞きしない | ④ 質問をしない |
| ② 話をとらない | ⑤ アドバイスしない |
| ③ 否定しない | ⑥ 理屈を言わない |

子供が家に帰ってきて一番にする話は大切な話であることが多いそうです。忙しくても手を休めしっかりきいてあげましょう。更に話を聴く4つの技術とは…

- | | |
|--------|--------|
| ① 笑顔 | ③ あいづち |
| ② うなずき | ④ 繰り返す |

「うなずき」は話し手に大きな勇気と自信を与えるものだそうです。

しかし、決して「叱ってはいけない」「教えてはいけない」ということではないそうです。早く結果を出そうと焦らないことが大切とのこと。

大人たちが、子どもたちの話を上手に聴けるようになると、大人と子どものコミュニケーションがスムーズに取れるようになります。「近頃、子どもが何を考えているかよくわからない」という事態を防ぐことができます。子どもたちがグングン良い方向に向かいます。子どもの話をしっかり聴いてあげて、子どもに自尊感情という大きなプレゼントをあげましょう。自尊感情を持った子どもは、少々のことでは挫けない、頑張りの利く、意欲的な子に、きつとなることと思います。話をしっかり聴かなければならない場面というのは、意外にあるものです。どうぞ皆さん、子どもたちから相談されるような頼りにされるような、そんな保護者であって下さい。そして、愛する子どもを見失うことのないように…。(竹内先生のレジュメより)

最後に、「子育ては大変ですが親も子ども、共に幸せになりましょう」というお言葉をいただきました。

過去最高 252 人のご参加をいただき、大盛況のうちに終了することができました。

お忙しい中、誠にありがとうございました。

～感想など～

- ・ユーモアと実例を交え、話が解りやすかった。
- ・この講師を見つけてくれてありがとう。
- ・子供たちと過ごす大切さを再確認しました。
- ・納得すること、勉強になることがとても多かったです。
- ・今までで、面白さ、内容の濃さ、ダントツ1位の講演会。

～お越しいただいた来賓の方々～

稲城市教育委員会教育長	小島 文弘
稲城市教育委員会生涯学習課長	小島 寛
稲城市教育委員会指導主事	細谷 俊太郎
市議会議員	大久保 もりひさ
市議会議員	遠藤 くに子
市議会議員	梶浦 みさこ

(敬称略)

～講師プロフィール～

竹内成彦 (たけうち なるひこ)
日本カウンセラー協会認定カウンセラー
平成9年度独立開業、臨床数は1万回以上
カウンセリング・講演・執筆活動
講演・研修会は500回を超える実績あり
『心の相談室 with』<http://www.kokorowith.com/>

～編集後記～

写真撮影などにご協力いただきありがとうございました

田中 吉川 高橋 鈴木 島田 澤原